



協体あさふ

「藤沢市体育協会広報」第51号

発行日 平成14年9月5日
発行・編集 藤沢市体育協会
〒251-0026 藤沢市鶴沼東8-2
株父宮記念体育館

皆さんと共に、生涯スポーツの推進を目指して



藤沢市教育委員会 スポーツ課長
田中正男

本年四月に、スポーツ課長に就任いたしました田中です。どうぞよろしくお願い申し上げます。

日頃、体育協会の皆様には本市のスポーツ振興に、多大なご尽力をいただき感謝しております。

体育協会は、現在、三十の種目団体が加盟しており、大きな組織となっており、生涯スポーツ時代を迎え体育協会の役割は、更に大きなものになると思われまます。

先日、体協要覧の沿革を拝見して驚きました。体育協会の前身である体育連盟の発足した年が、私の生まれた年と同じ年であったからで、体育協会も五十年以上の歴史が有る訳ですね。この沿革でも分かる通り藤沢市体育協会の発展は、目を見張るものがあり、体育協会の多くの諸先輩方のご尽力のお蔭と感謝しております。

推進を目指して

田中正男

昨年は第五十二回神奈川県総合体育大会において見事、総合優勝を飾り、二年ぶり四回目との事。これも各種目団体が一丸となった結果と思っております。今年も総合優勝を目指し頑張っているという情報も、伝わってきております。体協一丸となって連続優勝を目指して下さい。

さて、現在スポーツ課では、「藤沢市スポーツ振興基本計画（マスタープラン）」の策定に向けて、昨年から引き続き作業を行っています。

本市スポーツ振興審議会の中に、「策定委員会」を設置していただき、市職員による庁内プロジェクトからの情報・資料提供を受け、本市の「総合計画2020」との整合性を図り、また、国が平成十二年九月に発表した、「スポーツ振興基本計画」に示された施策を取り入れながら作業が進められています。

平成十三年度の作業としては、スポーツ振興基本計画の骨組みとなる体系づくりを行いました。

平成十四年度は、本市「総合計画2020」の「健康で豊かなスポーツライフの確立」をテーマに、実現のための施策について取り組んでおります。この実現のための施策とは、「スポーツ施設の整備・拡充」、「生涯スポーツ活動の推進」、「スポーツ情報提供体制の充実」を柱としています。

この三つの柱を基に、「スポーツ施設の整備・拡充」では、公共スポーツ施設の整備拡充、自然を生かしたスポーツの場づくりなど。「生涯スポーツ活動の推進」では、スポーツを楽しむまちづくり、活動を支える指導者づくりなど。「スポーツ情報提供体制の充実」では、スポーツ施設予約システムの充実、各種情報提供媒体の研究などについて、今年度末を目指して、検討・協議が行われています。

以上のように「藤沢市スポーツ振興基本計画」（マスタープラン）の策定作業が進められておりますので体育協会の皆様のご理解と、ご協力をお願いし、さらなる藤沢市体育協会の発展を祈念しております。今後ともよろしくお願いいたします。

ゴルフをより身近なスポーツに 藤沢市ゴルフ協会

藤沢市ゴルフ協会は、平成2年4月ゴルフの愛好家、発起人有志の呼びかけで「ゴルフが市民スポーツとして、健全に発展すること」を願って設立しました。この年市制施行50周年を記念し、藤沢市民チャリティ・ゴルフ大会を開催し、平成3年藤沢市体育協会に加盟申請、神奈川県ゴルフ協会の設立に参加し加盟しました。

親睦ゴルフ大会(第4回)、③会員スクラッチ競技会、④会員アンダーハンド競技会を開催すると共に、県総合体育大会ゴルフ競技の参加選手の選抜、研修競技会、ゴルフスクール

の開催と年間を通して、ゴルフの普及発展に邁進しております。
ゴルフは、審判(レフリー)のいない競技で、競技者自身が審判である、というスポーツです。従って、ゴルフがスポーツとして健全に発展するには、ルールやマナーを正しく身に付ける必要があります。競技のルールは難解なものですが、ゴルフはその中でも難かしいので、協会では、色々な機会を捉えて研修していただいております。ゴルフが一部愛好者のためだけでなく、市民の健康づくりや交流の場づくりに役立つ、更には、ゴルフ競技の特徴として幼少から老年まで一生を通じて楽しめるスポーツとしての理解を市民の皆様にも更に浸透してゆくよう、協会活動を充実させてゆく計画です。

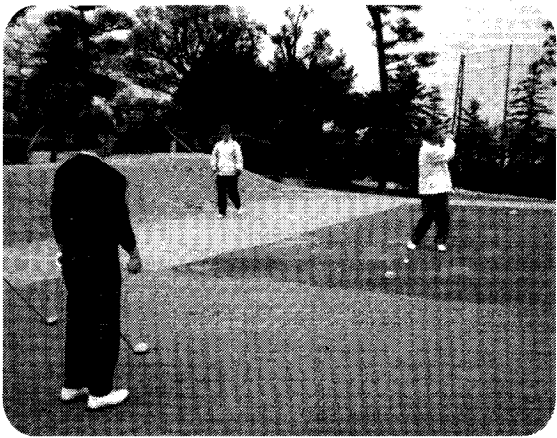
「太極は無極より生じ陰陽の母なり、動ずれば即ち分れ静すれば即ち合す」
太極拳の名付け親とも云われる王宗岳が「太極拳譜」「十三勢歌」を著したのは十八世紀後半であるが、その源の太極陰陽学説は中国古

協会の事業は ①市民ゴルフ大会(本年は第13回)、②市内地区対抗

今年、スタートした原点に戻って、各競技会において、ルール・マナーの勉強会を開催する予定です。どうぞ、一人でも多くの市民の方が参加する事を期待しております。

代から哲学医学に重要な位置を占めて来たものである。近年太極拳は「ゆつくり柔らかく」の方向へ発展し療養効果を発揮しているが、そこに武術の意が含まれるのも明らかである。そして太極拳の特徴は「柔を以て剛に克つ」「己を捨てて勝つ」「心静かに体もリラックス」「気を丹田に沈め根源は腰隙に在り」である。「腰隙はへその後ろ後丹田、命門穴とも云ふ。」1927年中華人民共和国は、国民の保健の為、伝統太極拳の基礎の上に「簡化24式制定拳」を作った。これは今日我々も先ず習得するものであり、目的通り高齢化社会の健康増進の一助となっている様に思える。

者達が藤沢の太極拳の歴史を創られたのだから。殊に翌年1月「藤沢市太極拳クラブ」の創立と共に「無拳無意」の尾崎先生が来られ、次第にグループが増え現在市内各地に8クラブ計270名程の会員が活動しこの他のクラブもある。
平成八年には体協入会。競技大会、技術講習会、いきいきフェアーを主催。又、藤沢スポーツ振興財団の依頼に因り、10回コース講習会や毎週金曜の秩父宮体育館の太極拳時間帯の講師を多数派遣しているが、ここ一二年で随分と定着し太極拳人口の増加に資している様に思える。「次のオリンピックには太極拳を正式種目に」の動きもある今日、一人でも多くの方が太極拳に親しまれて、元気な人生を過される事の一助となり得れば幸と考えている。



種目協会アラカルト

「一緒に太極拳をやりましょう」 狭野 一

藤沢市に於ける太極拳は昭和51年市広報で募集された「講習会」に始まる。ここで学ばれた20名程の先覚



平成13年度収支決算書

1. 収入の部

(単位 円)

項 目	予 算 額	収 入 済 額	増 減
体 協 費	13,196,000	13,198,114	2,114
補 助 金	4,388,000	4,388,000	0
委 託 料	6,330,000	6,330,000	0
賛 助 会 費	1,650,000	1,653,000	3,000
分 担 金	551,000	551,000	0
繰 越 金	275,741	275,741	
雑 収 入	1,259	373	-886

2. 支出の部

(単位 円)

項 目	予 算 額	支 出 済 額	増 減
運 営 費	13,196,000	13,158,057	37,943
事 務 局	2,522,406	2,522,406	0
事 業 費	10,405,594	10,385,651	19,943
積 立 金	250,000	250,000	0
予 備 費	18,000	0	18,000

収入済額 13,198,114 円
 支出済額 13,158,057 円
 差引金額 40,057 円

平成14年度収支予算書

1. 収入の部

(単位 円)

項 目	予 算 額
体 協 費	12,487,000
補 助 金	4,077,000
委 託 料	6,168,000
賛 助 会 費	1,650,000
分 担 金	551,000
繰 越 金	40,057
雑 収 入	943

2. 支出の部

(単位 円)

項 目	予 算 額
体 協 費	12,487,000
事 務 局 費	1,914,000
事 業 費	10,281,000
積 立 金	250,000
予 備 費	42,000

種目協会における会長変更

- 射撃協会 新会長 矢部 重信
旧会長 伊藤喜三郎
- ソフトボール協会 新会長 国松 誠
旧会長 宮治 政弘
- ハンドボール協会 新会長 設楽 孝治
旧会長 熊山喜三郎
- ボウリング協会 新会長 鈴木 恒夫
旧会長 桜井 正平

- 1 評議員会、理事会、常任理事会、専門部会の開催
- 2 藤沢市体育協会の組織運営に関する研究
- 3 藤沢市委託事業の実施
 - ① 第57回藤沢市民総合体育大会開催事業
 - ② 第53回神奈川県総合体育大会藤沢市代表選手派遣事業
 - ③ スポーツ人の集い講演会の開催
- 4 加盟種目協会への補助金交付
- 5 第18回「スポーツ人の集い」開催
- 6 藤沢スポーツ賞(功労賞、優秀選手、敢闘選手)の表彰及び各種表彰に関する事業
- 7 県外スポーツ交流推進の助成事業
- 8 賛助会員の拡充
- 9 広報紙の編集、発行に関する事業
- 10 体育協会史の編纂に関する事業
- 11 種目協会会長の開催
- 12 スポーツ関係団体との連携充実
- 13 その他体育協会の目的遂行に必要な事業

平成14年度藤沢市体育協会事業計画

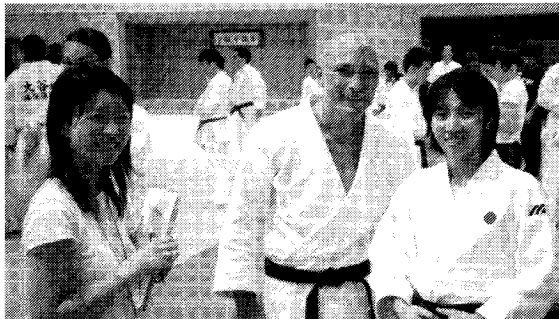
本年度藤沢市体育協会では次の事業を展開します。

ドイツスポーツ少年団 (ドイツスポーツユース)

を迎えて

「第二九回日独スポーツ少年団同時交流（日本・県スポーツ少年団本部主催）」の正式決定は、本年一月のことでした。直ちに実行委員会を立ち上げ、同時交流のプログラムを作成・検討を重ね実施しました。

七月二十四日から二十九日までのホームステイ受入れの家庭の協力を得ての藤沢らしさを強調してのプログラム作成でした。



指導者イエンツ・カイテルと楢崎選手

その流れの一端を紹介しますと、二十四日「受入れ式」二十五日「市長表敬訪問」「江の島水族館・マリナランドの見学」「花火大会」二十六日「サーフビレッジ」での「ビーチバレー」

「辻堂・北町のまつり」二十七日「ホームステイ家族との交流」二十八日「高校生との柔道交流」「ミニ交歓会」

「さよならパーティ」二十九日「見

送り式」以上が藤沢滞在中の交流の主なものです。

今回、来藤の団員は、柔道グループ十名（男六・女四）で、指導者三十歳を除くと十五〜二十一歳でした。柔道経験三〜五年が中心です。

柔道協会のご協力で、日大藤沢高校、藤嶺学園藤沢高校、藤沢翔陵高校の部員と交流試合を武道室で行いました。柔道の礼から始まる型・技の披露のあと試合です。懸命に技を競う姿に感動しました。オリンピックの楢崎選手にも参加してもらいました。日本での大きな思い出になったものと思います。

本市のスポーツ少年団員と高校生との交流、日本の家庭生活や、文化・歴史に触れての短い一週間でしたが、市長をはじめ多くの関係者の接待を受け、江の島を背景に藤沢をドイツにアピールしてくれました。ご協力頂いた方々に感謝します。

この交流を今後のスポーツ少年団活動に生かしていきたいと考えています。（藤沢市スポーツ少年団本部）

協会創立50周年記念

ソウル少年チーム招待

日韓親善サッカー大会

8月4日〜7日の4日間、韓国ソウル市少年選手団を招待して、日韓親善サッカー大会が開催されました。

サッカー協会では毎年選手団をソウルへ派遣してきましたが、30年間にわたるソウル協会のご協力に感謝の意を表し、創立50周年記念事業として少年チームを招待しました。5日・6日の両日交流試合が行われ、結果は韓国の2勝2分でした。試合後は、選手・指導者らが参加して、楽しい雰囲気の中交歓会が行われ、21世紀を担う日韓両国の少年達の友情が深められました。

サッカー協会

小学生・韓国交流

バスケットボール協会

藤沢市バスケットボール協会は、韓国から善一初等学校の女子チーム選手12人スタッフ4人を招待し8月7日・8日両日交流試合を開催しました。

試合は4試合行いましたが、韓国1位の善一は長身を生かし、圧倒的強さで全勝しました。

今回で3度目を迎えた来藤、今回も選手達は三泊四日をホームステイし日本の生活を体験しました。藤沢での4日間、真剣

勝負の試合を離れると子供達は、プログラムの会話集や身振り手振りで無邪気に騒ぎ、大変楽しそうに交流していました。

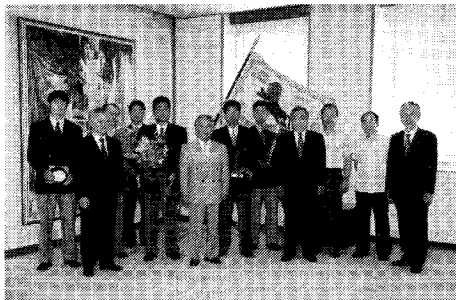
編集後記

猛暑の夏休み、本市で開催されたスポーツ少年団の国際交流、関係者の皆様本当にご苦勞様です。この出会いが大きな実を結ぶことをお祈りします。

さて、本体協役員も2年目の後期に入り一段と充実してまいりました。本市スポーツ発展のため邁進してまいりますので、よろしくお願いたします。

広報担当理事

第73回 都市対抗野球優勝おめでとう!



山本市長へ初優勝の報告
いすゞ代表と市関係者 (提供 藤沢市)